

市民クラブ

編集発行

塩竈市梅の宮1-26

会長 鎌田 礼二

「あいさつ

令和5年の改選後に「鎌田礼二」・「今野恭一」・「志子田吉晃」の3名で『市民クラブ』を結成しました。友好会派「かいしん」と連携し活発な活動を展開しています。

市民クラブは、塩竈市の未来はどうあるべきか、また、市民の皆様にとって何が必要なかを第一に考え、議会をリードしてまいります。

主な取り組み

主な取り組みとして「塩竈市の財政について」、「人口増加策について」、「安全安心な町づくり」について提案してまいりますので、市民の皆様のご意見・ご要望等をお寄せ下さい。「かいしん」共々、ご声援をお願い致します。

それぞれの取り組み

◎鎌田礼二（市民クラブ会長）

昨年9月、2年間の議長職を無事完遂し、現在は「議会運営委員会委員長」を務め、一議員として活動しています。そして、定例議会や予算・決算特別委員会を積極的にこなしてまいります。

◎今野恭一（市民クラブ会計）

昨年9月より副議長に就任致しました。議長を補佐し、議会のスムーズな議会運営に徹しています。また、塩竈地区消防組合の議長として多忙な日程をこなしております。

◎志子田吉晃（市民クラブ幹事長）

昨年9月、議会運営委員会委員長を無事完遂し、現在は「民生常任委員会委員長」に就任致しました。今後共、議員活動に情熱をもち、市民の健康を守り、安全安心なまちづくりを積極的に提案してまいります。



2026.03.06 2月定例会最終日で友好会派の「かいしん」・「佐藤光樹市長」と



しこだた よしあき
志子田 吉晃
民生常任委員会委員長
今宮町10-14
TEL 363-1616

令和8年2月26日、一般質問において、物価高対策として、①塩竈市の消費税、②物価高支

援を、命と人口維持対策として、③ワクチン接種、④人口動態を、塩竈市の財政に関して、⑤8年度予算をそれぞれ聞き出す事ができました。

①で国の現行制度への認識を伺い、「平等に負担して行政の大事な財源」との答弁。しかし輸出還付金で消費税が戻る会社と、赤字でも納税義務のある地元企業の苦しみを紹介(塩釜税務署管内では毎年数百件の消費税滞納がある)、②デジタル化に伴う新たな支援策と後継ぎマツチングを対案しました。

③9月定例会に続きコロナワクチン接種を伺い、VRSデータ管理からロット番号別の抽出を提唱しました。副反応疑い報告での死亡者は2302件あります。接種後体調不良の方は健康づくり課か、私まで連絡をお願いします。

④令和7年の塩竈市の出生者数は173人、死亡者は800人、転入増加20人、年間647人の減少です。町内会でも若い方含め7人が亡くなり異常性を感じています。

⑤令和8年度一般会計予算の市税収入は62億2千万円。自主財源比率が42%と4%上昇し良好な数字です。

3月3日、予算委員会で、地方消費税交付金を質問し、たばこ税は4億3千万円の収入がありますが納税者への還元はない為、市役所の喫煙室を要望致しました。

平成7年度の質問・要望に対して実現した主な事業は、私道整備事業、芦畔町8番地。河川擁壁工事、伊保石137番地。ガス体育館バス停歩道工事です。市民の健康を守り、安全安心なまちづくりを積極的に提案して行きます。



このの きょういち
今野 恭一
副議長
産業建設常任委員会
西町3-15
TEL 367-7055

昨年9月に副議長に就任し、副議長職に専念しております。

ここでは、副議長になる前の昨年6月定例会での一般質問を掲載します。

①表参道から裏参道周辺のまちづくり

旧宮町庁舎跡地の駐車場周辺には江戸時代あるいは明治時代から続く老舗が多く観光客も多い。しかし、駐車場が無いことから買い物のためらう方が多い。駐車場確保をお願いします。

②国道45号線の整備

港町から新浜町までの渋滞を解消しなければ塩竈の経済はますます疲弊する。市長は、以前、国道45号線を港町から北浜まで直線つなぐ構想を述べておりましたが、私は何とか実現して欲しい。その後の状況をお聞きしたい。



かまた れいじ
鎌田 礼二
議会運営委員会委員長
総務教育常任委員会
梅の宮1-26
TEL 365-9626

議長交代後の昨年9月より一議員としてしっかりと活動しております。活動の一部ではあり

ますが、この紙面では、昨年12月定例会での一般質問をご紹介します。

塩竈市の合計特殊出生率(一人の女性が生涯で産む子どもの人数の推計)は1.15と低く、人口は減り続けている。この「人口減少」は、本市のみならず全国的な問題となっている。

本市の人口増加策として、私は他市町村にはない、跳び抜けた施策が何個か必要ではないかと言いつづけています。12月定例会で次のような提案を行っています。

①市内各所で舗装や側溝の劣化が進んでいる。道路の劣化を追い越す再整備が必要である。

②私道整備への補助率を引き上げ、整備者の希望に応じて、個人負担分を一時的に本市が全額建て替えて分割払いができるようにし、整備を促進すべきである。

③放射性物質から被ばくを防ぐ「テント型核シェルター」を市民が導入するように補助を行うかどうか。

全国的にもこのような補助を行っている自治体は無い。これにより、本市を全国的にアピールし、人口増加策の一環としては如何でしょうか。